

平成23年度職員研修の基本方針

市では、平成19年3月に第四次総合計画を策定し、筑後市の将来像を「緑に恵まれ、活力と笑顔あふれる協働のまち 筑後市」と位置づけています。それぞれの施策や基本事業に目標を定め、それを数値化することで目標の達成度を測りやすくした内容となっています。また、平成23年度は、基本計画の中間年度となっており、節目の年でもあります。

「市民が主役」という考え方は、総合計画の策定において根底にあるものであり、今後の取り組みにおいてもその考え方は脈々と流れていきます。

まちづくりのもう一方の担い手である職員については、総合計画の施策の中で「市民から信頼される職員・組織づくり」をスローガンに掲げています。

市民ニーズが多様化・高度化している中で、これまで以上に、前例にとられない、目的と根拠をもった業務遂行が必要であり、組織横断的、かつ、きめの細かいニーズへの対応が求められています。市民協働のまちづくりを推進していくためには、研修、人事評価、目標管理等を的確に実施し、すべての職員の意識改革と資質向上、説明能力の向上に努め、市民にわかりやすく迅速な処理ができる組織づくりを進める必要があります。職員に対する市民の信頼抜きには市民協働のまちづくりは達成できません。

人材育成基本方針には、めざすべき職員像として、「筑後市を愛し 市民とともに 前進する職員」を掲げています。この目指すべき職員像を達成し、より効果的な人材育成を推進するため、本年度、次のような研修プログラム等を計画し実施します。

平成23年度職員研修重点項目

⌘ 人事評価制度の研修への活用

市民から信頼される組織になるためには、職員一人ひとりが自分の果たすべき役割を全うしなければならないことは言うまでもありません。そのためには、各職階に求められる能力やスキルを把握し、それを身に付けることが必要になります。

人事評価制度は、それぞれの職階に求められる能力を設定しています。本年度は、その中で設定されている、各職階に求められている能力を習得できるよう階層別研修の場や情報を提供し、個人のレベルアップに繋がるような取組みを行います。また、OJTの推進も重点的に取組みます。

⌘ 管理・監督能力の養成

多様な住民ニーズや刻々と変化する社会情勢に対しては、組織としての確に対応することが求められます。そのためには、管理職が、内外環境の変化を見極め、リーダーシップを発揮し、適切な目標・ビジョンを部下に徹底させることが必要です。

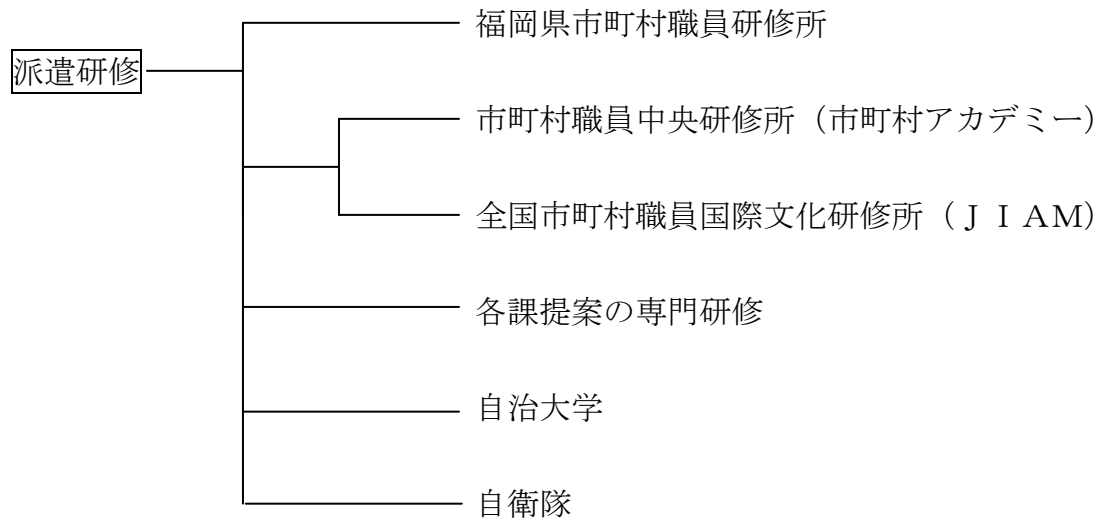
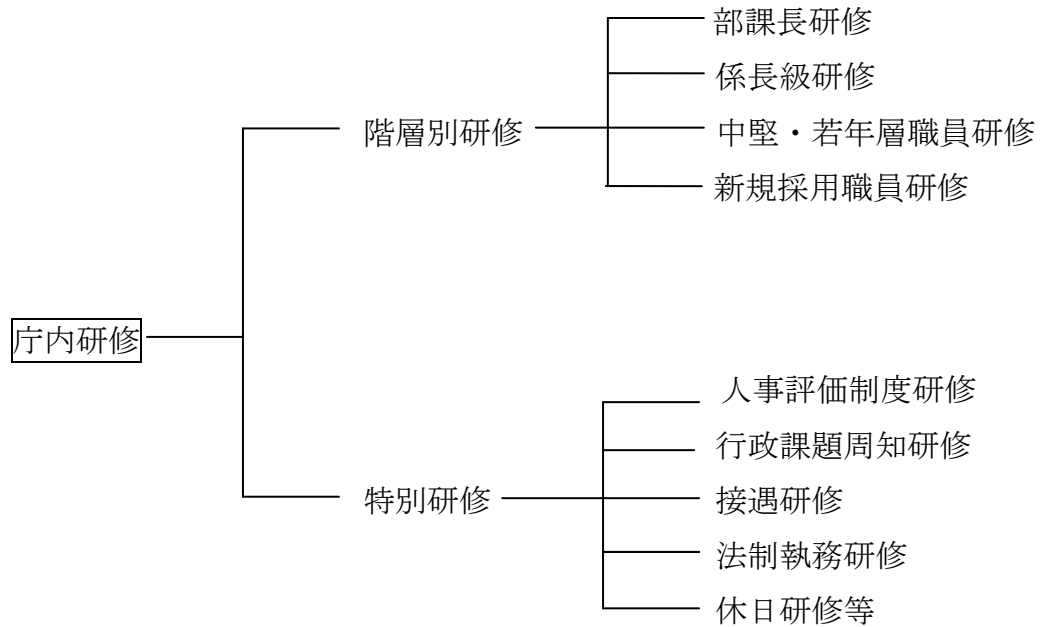
そこで、管理職が、広い視野での経営感覚や人材育成能力を身に付け、また、組織横断的に課題を解決する能力が養えるよう、庁内で開催する管理・監督者向け研修の更なる充実を進めるとともに、管理職等の外部研修への参加を推進していきます。

⌘ 外部研修への参加促進

福岡県市町村職員研修所を始めとする外部研修は、他団体職員と交流する場や研修に集中できる環境が整っていると同時に、経験豊かな講師陣からハイレベルな講義を受けることができ、内部研修では得られない成果が期待できます。

研修を通じて人材育成を進めるという観点から、本年度は、過去の選択研修受講歴や担当する業務との関連性等を考慮し、福岡県市町村職員研修所で実施されている選択研修の中で、その職員の今後のキャリア形成に効果的と思われる研修への参加を求める取組みを行います。また、自治大学や自衛隊への派遣研修を行い、民間会社への派遣研修についても検討します。

平成23年度研修体系



自主研修 ————— 自主研修グループ発表会

その他 ————— 総合案内窓口